

RI 2780 地区 茅ヶ崎ロータリークラブ週報

1960年8月10日創立

2013～2014年度

第54代会長 出口敬純

第54代幹事 横山 貢



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2014年1月23日(木) 第2611回例会 天候:晴れ 司会:古知屋光洋副幹事 No. 26

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

◇歌唱 「それこそロータリー」

◇会長挨拶

◇幹事報告

◇卓話 河本啓伸君「汗と涙のミュージシャン半生」(ピアノ演奏・歌つき)

◎幹事報告

◇ガバナー事務所より

*「ロータリー創立記念日にむけて」メッセージ

*米山奨学金終了学生終了式/歓送会 開催の案内

・2/9(日) 終了式…15:00～16:00 歓送会…16:30～18:30
・藤沢産業センター6F『研修室1・2』

*青少年交換 派遣学生オリエンテーション開催の件

・2/1(土) 14:00～16:00 相澤ビル6階 会議室 回答期日:1/28(火)

*インターアクト泊研修会 参加依頼 3/29(土)～30(日)
・厚木市立七沢自然ふれあいセンター

◇東日本震災復興基金 日本委員会より

・東日本震災復興基金委員会の再編成とプロジェクトへの支援再開の通知

・東日本震災復興基金財務報告

・ロータリー東日本震災復興基金 補助金申請書

◇玉蘭荘だより 141号

◇茅ヶ崎青年会議所より 新年式典出席への礼状

◇ロータリー財団ハンドブック ◇タウンニュース

スマイル報告 杉田祐一会員

出口敬純君&横山貢君 河本さん、卓話楽しみです。来週は夜間例会です。時間を間違えないようお願いします。
田中賢三君 本日早退して地区研修委に向かいます。河本さんの汗と涙はネットで見たいので、しっかり up しておいて下さい。

伊藤留治君 河本さん、今日のショー楽しみです。

加藤 寛君 吉田さん、先日は大変お世話になりました。

吉田恵子君 一昨日、商工会議所女性会の新年会がありまして、山口解答の楽しいお話ありがとうございました。本日は河本さん楽しみにしております。

杉本行廣君 先週欠席分のメイクアップのため、中央RCに出席しました。その際、今週日曜からパキスタンへポリオ推進活動の為、三名行くとのことでした。ごぶじであらんことを！

小澤耕一君 寒さも底です。あとひとがんばりです。

河本啓伸君 ようこそスーパースターのワンマンライブへ！リハビリの成果が少しでもお見せできるよう、適切に頑張ります。

条 仁夫君 河本さん、卓話・ピアノ演奏・歌、楽しみです！

和田幸男君 河本さん、卓話ご苦労様です。

古知屋光洋君 河本さんの美声と軽快なトーク、楽しみです。

平井 茂君 ミュージシャン河本の復活を祝して。

大森久巳男君 大寒を過ぎて寒さは一段と厳しいですが、陽ざしが何となく春めいてきたように感じます。河本様、卓話楽しみです。



左からソングリーダーの岩澤会員、会場監督の加藤会員、出席報告の大箭会員

◎出席報告 大箭剛久会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
1/23	2611	38	37	33	3	1	97.30%	
1/9	2609	38	32+6	34	1+0	3	92.11%	92.11%

小林 亨君 来週はひさびさの夜間例会、楽しみにしています。本日は河本君の卓話にしかたないのでスマイル。
 清水賢一君 河本さん、卓話（ピアノ演奏）たのしみに行っています。
 棕梨晴喜君 早退しますが、宜しくお願いいたします。
 下里洋一君 体調不良で休みがち、申し訳ありません。今日も早退です。
 大木 暁君 河本さんの熱いライブ、とても楽しみにしております！
 程島利通君 河本さん、限定CD有難うございます。
 加瀬義明君 河本さん、CDありがとうございます。演奏、楽しみにしております。
 西山国男君 河本さん、ステージ宜しくお祈りします。楽しみです。
 岩澤あゆみ君 河本さん、卓話ライブショー楽しみです！会場をスマイルでいっぱいにして下さ〜い！
 中山富貴子君 河本さん、とても楽しみにしております。
 杉田祐一君 プレゼントをいただいた時点でワクワクしております。河本さん、本日の卓話とても楽しみです。
 [本日 25 件、30,000 円です]

会うことは全くありませんでしたが) 高田馬場にある「いとでんわ」という小さなライブハウスに私の歌を聴きに来る客の一人でした。ライブ後の夜中、彼と私はよく自らの将来のことや文学や音楽のことを語り合ったものでした(但し、お互い常に酔っ払っていたため、けして爽やかな青春談義ではありませんでしたが)。のちに彼が直木賞を取る小説家になろうとは、もちろん夢にも思いませんでした。その重松が、講演の控室で私にポロっとう言ったのです。「河本さん、なんで歌わないの？俺の 20 代の音楽は河本さんだったのに...」。その言葉には大きく気持ちを動かされました。さらに、その4日後、武道館で行われた槇原敬之のデビュー20周年記念コンサートに出掛けたことが決定打でした。この槇原こそが私に商業音楽から撤退する引導を渡した男でした。

1990年、30歳を目前にして、私は最後の賭けに出ようと“AXIA MUSIC AUDITION”というコンテストに『京浜賭博地帯』という楽曲で応募し、約1万曲の中から4次の予選を経て、ついに全国大会決勝に残ることが出来ました。「ここまでくればグランプリの賞金100万円とメジャーデビューは自分のものだ」と、根拠のない自信を携えてコンテスト当日を迎えました。ところが、そこに立ちだかかったのが、汚いシャツを着た、二浪中(実際には三浪が確定していた)の槇原だったのです。『NG』という彼の楽曲は、特に最初の8小節がキャッチーで、私はその後しばらくは寝ている時にそのメロディが頭の中で鳴って起きる、という症状に苦しんだほどでした。彼がグランプリを獲り、メジャーデビューを果たしたのです。私は大きな喪失感とともに商業音楽からフェードアウトしてゆくことになり、そこからおよそ20年、敗者復活戦とも言える現在の仕事で必死に走り続けました。

槇原にとっても、20年という歳月はそれなりの重さがあったでしょう。デビューしてすぐに『どんなときも。』という大ヒットに恵まれましたが、薬物使用で捕まるという経験もあり、苦しんだ時代もありました。SMAPに提供した『世界に一つだけの花』がそれを超えるヒットとなり、世間で広く認知されるようになって、彼も安堵したのではないのでしょうか。その槇原のデビュー20周年記念コンサートの終盤で、件の『NG』を彼が歌い出した時、不覚にも落涙してしまいました。止めることも出来ません。あのコンテストの日からのことが一気にフラッシュバックしたのです。彼とはコンテストの日に一度会ったきりですが、その存在はずっととてつもなく大きいものであり続けました。

重松清、槇原敬之という二人のライバルがいてくれたので、私は音楽活動をやっていない間も「想像と創造」という精神だけは失うことはありませんでした。今、音楽に回帰しようというのは、けして偶然ではなく、何らかの必然なのだと思信しています。着地点を決めているわけではありませんが、かつての楽曲を懐古的に歌うというだけでなく、新しい歌も作っていければと思います。

ちなみに、私の最大のヒット曲は間違いなく『覇気あれ我がクラブ』です。クラブオリジナルソングとして、クラブの皆さんに、これだけ長く歌ってもらえて幸せです。この歌があったから、ミュージシャンとしてのアイデンティティを保つことが出来ました。これからも愛して行って下さいね。

=卓話中演奏した楽曲=

◆You Are My Musician ◆NG [槇原敬之・作]

◆京浜賭博地帯 ◆モデラート

当日配布された“ロータリアン限定CD”のジャケット



卓話 河本啓伸君
 「汗と涙のミュージシャン半生」
 ~音楽への回帰と二人のライバル~



封印していた音楽を再開しようと思ったそもそものきっかけは、茅ヶ崎RCの会長をやらせてもらっていた2010~2011年度が創立50周年に当たり、その記念講演

(2010年10月19日)に旧知の縁で重松清に来てもらったことでした。彼は早稲田大学の1学年後輩で(と言っても大学構内で